

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<心理科学科>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
社会学	2	医療機関にて社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史	2	国立小学校、大阪府教育センターにおいて社会科学習を担当した経験があり、その実務経験を活かして日本の歴史に関わる知識を広げ、歴史の見方・考え方についての理解を深める。
保健体育 (A)	2	主として小学校において、教諭及び管理職として業務に従事した経験(37年間)があり、その実務経験を活かして、学校現場や児童・生徒の実態や様子も踏まえながら、より具体的な授業を行う。
体育実技 (D)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (E)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (F)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	(福祉創造学科 加藤友野) 総合病院などにおいて看護師として23年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして終末期に関する法的根拠、心身の変化などの知識、支援方法についての授業を行う。 (福祉栄養学科 伯井朋子) 保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 (リハビリテーション学科 重森健太) 地域理学療法分野で25年。
発達心理学 (心)	2	公認心理師、臨床心理士として子育て支援や発達支援の現場に関わってきた実務経験(約30年)に基づき、講義を行う。
心理学的支援法 (心)	2	授業においては児童相談所児童心理司、児童福祉施設・障害者施設等における公務員心理職の実務経験(31年間)に基づく事項等を紹介して、実践的な知識・情報の提供も行う。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	大阪府立箕面支援学校(肢体不自由校)において自立活動教諭として5年間、主に自立活動の指導業務(主任)に従事した経験がある。その後、大阪府立交野養護学校教頭職を2年間、大阪府教育センター教育課題研究室主任指導主事を2年間、引き続き特別支援教育研究室にて首席指導主事(室長)を3年間を経た後、大阪府立交野養護学校長(肢体不自由)、大阪府立寝屋川支援学校長(知的障害)、大阪府立堺支援学校長(肢体不自由)の3校をそれぞれ2年間延べ6年間の従事経験がある。その実務経験や肢体不自由児者の臨床及び指導経験を活かして肢体不自由児者の心理・生理・病理についての授業を行う。
精神保健と社会福祉	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへのソーシャルワーク実践経験からメンタルヘルスに関する様々な社会資源や多職種・多機関連携のあり方について教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子どもや保護者に関わるメンタルヘルスについて教授する。
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ(精神)(心理)	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへのソーシャルワーク実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方などソーシャルワークの具体例について解説を行う。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援のあり方、特に教育・福祉・医療との連携や子育て支援に関する具体例を用いてソーシャルワークの難しさや可能性について伝える。
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ(精神)(心理)	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへのソーシャルワーク実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方など実習で役に立つような知見を教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援のあり方、特に教育・福祉・医療との連携等、実習で役に立つような知見を教授する。

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ (精神) (心理)	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへのソーシャルワーク実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方など実習で取り組むべきことを具体的にイメージしやすい授業を行う。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援に関する実習先でのソーシャルワーカーの役割等について具体的にイメージしやすい授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (精神) (心理)	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへのソーシャルワーク実践経験から実習に活かすための知見を教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援、特に教育・福祉・医療との連携等のあり方に関する知見を教授する。
福祉心理学	2	・公認心理師の資格を持ち、市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへの心理・福祉相談援助の実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方など心理職と他の専門職との協働のあり方について教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援のあり方、特に教育・福祉・医療との連携の重要性について教授する。
障害者・障害児心理学 (心)	2	児童相談所児童心理司、障害者施設心理職、障害福祉行政担当者としての実務経験(合計31年間)をもとに、障害全般にわたっての基本的知識や、心理社会的課題、必要な支援について講義します。
教育・学校心理学	2	担当教員(櫻井)は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如/多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
公認心理師の職責	2	科目担当者は、公認心理師資格を有し、過去に「司法・犯罪分野」での実践活動がある。
こどもの心理学	2	担当教員は、教育や福祉の現場において公認心理師/臨床心理士として30年以上、子どもや親子の心理支援に従事した経験があり、その実務経験を活かして子どもの発達に関する講義を行う。
インクルーシブな発達心理学	2	担当教員(櫻井)は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如/多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。 担当教員(荒木)は、大阪府心理職として、児童心理司、児童自立支援施設心理士・施設長、身体障害者入所施設施設長として臨床現場での心理支援を担当したほか、大阪府庁福祉部において障害福祉、高齢者福祉、児童福祉の各種施策の担当者として福祉行政に携わる(合計31年間)。
感情・人格心理学Ⅱ	2	担当教員(櫻井)は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如/多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。 担当教員(荒木)は、大阪府心理職として、児童心理司、児童自立支援施設心理士・施設長、身体障害者入所施設施設長として臨床現場での心理支援を担当したほか、大阪府庁福祉部において障害福祉、高齢者福祉、児童福祉の各種施策の担当者として福祉行政に携わる(合計31年間)。
心理テストⅠ	1	担当教員は、医療、教育、福祉領域の心理アセスメントの実務経験を持つ。公認心理師、臨床心理士として現場に関わってきた実務経験(約30年)に基づき、指導を行う。
心理テストⅡ	1	担当教員は、医療、教育、福祉領域の心理アセスメントの実務経験を持つ。公認心理師、臨床心理士として現場に関わってきた実務経験(約30年)に基づき、指導を行う。 担当教員(櫻井)は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如/多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。担当教員(栗村)は、精神科病院および総合病院の神経科において40年近く心理臨床を行ってきた。その体験に基づき授業を行う。
健康・医療心理学Ⅱ	2	担当教員(櫻井)は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、各心理臨床領域におけるイメージを用いた心理療法について紹介し、心理臨床の中でのイメージの役割について可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。

健康教育学原論（心）	2	私自身は看護職者として医療における健康教育の実践者でした。また現在は健康コンサルタントとして、一般社会の方たちを対象に健康教育を実践しています。その実践経験を講義の中に反映させた授業を構築します。
司法・犯罪心理学	2	担当教員は、14年間に渡り裁判所での勤務歴があると同時に家庭裁判所調査官の資格を有する者であり、現場に即した講義の展開を目指す。
心理学研究法Ⅲ	2	実務経験あり：米国の教育機関におけるリサーチ部門にて業務に従事した経験があり、その実務経験（6年）を活かして、文献の読み方や内容理解の方法について講義を行う。
精神保健福祉の原理Ⅱ（心理）	2	・市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などのソーシャルワーク実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方などソーシャルワークに関する基本的考え方について教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して、メンタルヘルスに関わる子ども・家族支援のあり方、特に教育・福祉・医療との連携の重要性について教授する。
精神保健福祉制度論	2	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所に相談援助業務に従事した経験が14年があり、その実務経験を活かして各テーマにおける精神保健福祉士の役割や、実践の中で感じるジレンマについての授業を行う。
研究演習Ⅰ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅰ（心I）	2	担当教員は心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
研究演習Ⅱ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官の資格を有していることから、少年非行や家族の揉め事の実践に対応してきた。
研究演習Ⅱ（心G）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅱ（心I）	2	担当教員は心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
研究演習Ⅲ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官資格を有しており、非行少年や家族の抱える諸問題に造詣が深い。
研究演習Ⅲ（心B）	2	公認心理師・臨床心理士として主に保健医療領域において40年近く心理臨床活動に携わってきた。その実務経験を踏まえて具体的な授業を行う。
研究演習Ⅲ（心H）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅲ（心J）	2	担当教員は公認心理師として心理支援に従事した経験があり、その実務経験を活かして講義を行う。
研究演習Ⅳ（心A）	2	科目担当者は、家庭裁判所調査官の資格を有し、少年非行や家事事件への造詣が深い。
研究演習Ⅳ（心B）	2	公認心理師・臨床心理士として主に保健医療領域において40年近く心理臨床活動に携わってきた。その実務経験を踏まえて具体的な授業を行う。
研究演習Ⅳ（心H）	2	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、「発達診断と発達臨床心理学的支援」をテーマとして、特に自閉性スペクトラムおよびその周辺の発達障害への治療・教育的介入と環境との関連性について学ぶとともに、臨床実践に繋がる卒業論文の作成指導を行う授業を行う。
研究演習Ⅳ（心J）	2	担当教員は心理職として心理支援に従事した経験がありその実務経験を活かして講義を行う。
社会保障Ⅰ	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会保障と生活の関連や施策の立案等について授業を行う。

地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	精神科診療所、精神科病院、教育現場、司法福祉領域など臨床と福祉実践、及びスーパービジョンや障害ピアサポート等の実践研究などの経験を生かした授業を行う。
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	精神科診療所、精神科病院、教育現場、司法福祉領域など臨床と福祉実践、及びスーパービジョンや障害ピアサポート等の実践研究などの経験を生かした授業を行う。
多様化する家族の心理学	2	講義担当者は、1年半の児童相談所での勤務、更には14年間の家庭裁判所等の司法機関での勤務歴があり、実践に即した授業を展開する。
おとなの心理学	2	保健医療領域において臨床心理士・公認心理師として40年近く心理臨床活動に従事してきた。その実務経験を活かして実際的な心理臨床の現状も紹介しながら授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（A）	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（B）	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方や対人援助について考える授業を行う。
権利擁護を支える法制度（福）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいてSW（在宅部門ディレクター）として業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして権利擁護やそれにまつわる法制度についての授業を行う。
体験的に学ぶ心理学的支援法	2	担当教員は、医療・教育・福祉領域におけるカウンセリングの実務経験を持つ。
行動分析学と認知行動療法	2	現在も児童・放課後デイサービスや訪問サービス事業において公認心理師として応用行動分析を用いた療育に従事しており、その実務経験を活かして行動原理の基礎から臨床について授業を行う。
心理的アセスメントⅠ（心） （2021年度以前入学生用）	1	医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験（5年）があり、その実務経験を活かして講義を行う（久保信代）。 司法機関である家庭裁判所において、心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした講義を行う（相谷登）。 担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
心理的アセスメントⅠ（心） （2022年度以降入学生用）	2	医療機関において心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験（5年）を活かして講義を行う（久保信代）。 司法機関である家庭裁判所において、心理職としてアセスメント業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした講義を行う（相谷登）。 担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的アセスメントについて、可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
心理的アセスメントⅡ	1	福祉領域や保健医療領域において心理臨床活動に携わってきた。それを踏まえて実際的なアセスメントの授業を行う。

心理演習（心）	1	担当教員は、医療、教育、福祉、産業領域の実務経験を持つ。公認心理師、臨床心理士として子育て支援や発達支援の現場に関わってきた実務経験（約30年）に基づき、指導を行う。
心理演習Ⅱ	1	担当教員（櫻井）は、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、発達障害や不登校事例を踏まえ、その臨床心理学的支援技法を実践的に習得させる授業を行う。 担当教員（荒木）は、大阪府心理職として、児童心理司、児童自立支援施設心理士・施設長、身体障害者入所施設施設長として臨床現場での心理支援を担当したほか、大阪府庁福祉部において障害福祉、高齢者福祉、児童福祉の各種施策の担当者として福祉行政に携わる（合計31年間）。
症例から学ぶ心の病とその支援	2	各担当教員は医療、教育、福祉領域において、公認心理師、臨床心理士あるいは精神保健福祉士として、心の支援に従事した経験が概ね10～35年あり、その実務経験を活かして心の病とその支援について症例をまじえて講義を行う。
学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2	特別支援学校において発達障害のある生徒担当の教諭として22年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、発達障害の心理学的特徴や学習面および心理面の支援などについて授業を行う。
心理学と職業	1	講義担当者である教員は、両名ともに大学以外での社会経験があり、就職活動に関する知識には長けている。
心理実習（心）	2	担当教員は医療、教育領域の実務経験を持つ。それら実務経験（約30年）に基づき指導を行う（久保）。